

故郷とあなたをつなぐ情報紙

ふくしまの



が分かる

新聞  vol.68

発行：福島県庁
避難者支援課
☎024-523-4250



平成30年7月19日(木) 発行

「ふくしまの今が分かる新聞」では、県内外に避難されている皆さまや被災者・避難者支援に携わる多くの方々へ、避難者支援の取り組みや福島の復興に向けた動きなど「ふくしまの今」が分かる情報をお届けします。

特集 安全・安心な福島のお食

福島県産農林水産物放射性物質検査結果
米の全量全袋検査
県産農産物の輸出が過去最高を記録！
県内支援情報



特集

安全・安心な福島のお食



福島県では、県産食品の放射性物質検査を実施、速やかな結果公表を行っております。また様々なキャンペーン、イベントを通じて県内外、国外に県産農産物の魅力をPRしております。

福島県産農林水産物放射性物質検査結果

福島県では、県産農林水産物の放射性物質検査を実施しています。基準値を超えた食品は市場に流通させず、安全・安心な県産農林水産物をみなさまにお届けしております。

野菜・果物、畜産物等の検査結果 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

種別	検査件数	基準値超過数	超過割合
野菜・果実*	2,854件	0件	0.00%
畜産物	4,124件	0件	0.00%
栽培山菜・きのこ	1,090件	0件	0.00%
海産魚介類	8,496件	0件	0.00%
内水面養殖魚	74件	0件	0.00%
野生山菜・きのこ	1,021件	1件	0.10%
河川・湖沼の魚類	718件	8件	1.11%

国のガイドラインに基づき福島県が実施している検査
※果実のうち特定ほ場のクリを除く。

食品中の放射性セシウムの基準値 【食品衛生法】(Bq/kg)

一般食品	100
牛乳	50
乳児用食品	50
飲料水	10

モニタリング検査等の結果をHPで公表しています。

福島県農林水産物・加工食品モニタリング情報

福島県農林水産物・加工食品
モニタリング情報
<https://www.new-fukushima.jp/>



米の全量全袋検査

福島県では平成24年産米から全量全袋検査を実施しております。平成27年～平成29年産米に関しては3年連続で基準値を超過した米は出ていません。検査済みの米には検査済みラベルが貼付され、一目で検査済みであることがわかります。



福島県では、平成24年産米から除染や放射性セシウムの吸収抑制対策を行うとともに、全ての米を対象に全量全袋検査を実施し、安全・安心対策に力を入れています。

平成30年4月時点	検査数	基準値*超過数	超過割合
平成29年産	約996万点	0点	0.00000%
平成28年産	約1,027万点	0点	0.00000%
平成27年産	約1,050万点	0点	0.00000%
平成26年産	約1,101万点	2点	0.00002%
平成25年産	約1,101万点	28点	0.00025%
平成24年産	約1,035万点	71点	0.00069%

3年連続超過なし!

※国の定める放射性セシウムの基準値(100Bq/kg)

米の全量全袋検査の結果はこちらのサイトへアクセス! 検査結果全体の概要だけでなく、玄米の個別の検査結果も確認できます。

ふくしまの恵み

<https://fukumegus.org/ok/contents/>



県産農林水産物販路拡大へ推進協議会が発足!

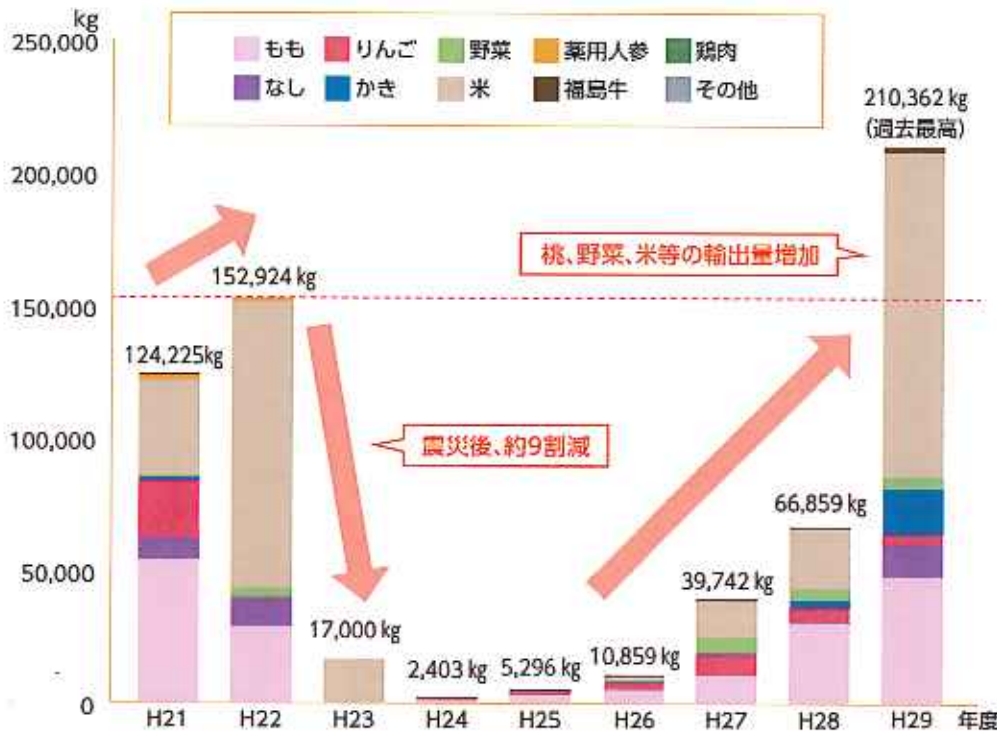
2020年東京オリンピック・パラリンピック等を契機とした、県産農林水産物の消費・販路を拡大するため知事を会長とする「ふくしまプライド。フードアクション推進協議会」が発足しました。協議会の総合アドバイザーには、オリンピックメダリストの有森裕子さん他2名が就任しました。



県産農産物の輸出が過去最高を記録!

県産農産物における平成29年度の輸出量は、東南アジア地域を中心に米や果物の輸出が大きく伸び、前年度の約3倍となる約210トン(210,362kg)を記録し、過去最高となりました。福島県はこれからも県産農産物の更なる輸出拡大に取り組んでいきます。

福島県産農産物の輸出量の推移(平成30年3月31日現在) (注: 農産物には「加工」品も含まれる)



マレーシアでのトップセールス(米、桃)



ベトナムでのトップセールス(梨)



シンガポールでの見本市(福島県ブース)

水産資源研究所が開所しました!

Q 開所の目的は?

A 福島県は、震災・原発事故により甚大な被害を受けた福島県の沿岸漁業の再生に向け、県産種苗の供給による栽培漁業の再開や、資源管理の高度化等の課題に対応するため、福島県水産資源研究所を設置しました。



開所式の様子

Q どんな機能があるの?

A 当該施設は魚介類の種苗生産技術の開発改良等を行う研究機能と、年間でヒラメ100万尾、アワビ100万個、アユ300万尾の稚魚(稚貝)を生産する生産機能の2つの機能があります。

福島の食について

もっと知りたい!

福島県では、イベント情報や旬の食材を使ったレシピなど、県の農林水産業に関するさまざまな取組を発信しています。

アニメ「食べちゃったっていいのに」

福島県の農林水産物の魅力を全世界に伝えるためのアニメーションです。



LINE@

毎週金曜日に農林水産業に関する知って得する情報をお届けしています。



メールマガジン

毎月、第3金曜日に農林水産業に関する旬な情報を盛りだくさんでお届けします。



クックパッド

毎週金曜日にふくしまの旬の農林水産物を使ったレシピや郷土料理などを公開しています。





福島県 原子力損害賠償に関する 個別相談のご案内

県では、東京電力への原子力損害賠償の請求手続きについて、福島県弁護士会及び福島県不動産鑑定士協会と連携し、弁護士及び不動産鑑定士による無料の対面相談を実施しております。

弁護士による巡回法律相談

相談できる内容

原子力損害賠償請求手続きに関する
不明な点やお困りの点等

相談料 無料

相談時間 30分(午後1時30分～
午後3時45分の間に実施)

実施日・実施会場 県内6市町

事前予約制です。相談を希望の方は、
実施日の1週間前までに下記の問い
合わせ窓口までご連絡ください。

弁護士による巡回相談実施日及び実施会場

※10月以降についても
開催を予定しています。

実施市町村	実施日	実施会場(所在地)
福島市	9月11日(火)	福島県庁北庁舎4階地域連携室(福島市杉妻町2-16)
白河市	9月20日(木)	白河商工会議所2階交流室(白河市道場小路96-5)
南会津町	9月5日(水)	福島県南会津合同庁舎4階会議室(南会津町田島字根小屋甲4277-1)
南相馬市	8月23日(木)	福島県南相馬合同庁舎北庁舎1階階政相談室(南相馬市原町区錦町1-30)
相馬市	9月20日(木)	相馬市役所2階相談室4(相馬市中村字北町63-3)
いわき市	9月11日(火)	いわき市役所勿来支所2階会議室(いわき市錦町大島1)

不動産鑑定士による相談

相談できる内容

- 宅地、建物の賠償額の見方や算定の方法
 - 宅地、建物の「現地評価」の実施等
- ※不動産鑑定士が、評価額を算定したり、
賠償額を示したりするものではありません。

対象となる方

東京電力から送付される「宅地・建物・借地権
賠償金ご請求書②」がお手元に届いている方

相談料 無料

相談時間 30分(午後1時～午後4時30分の間に実施)

実施日・実施会場

ご希望の日時(平日のみ)を伺い、調整した上で随時開催します。
※相談日時はご希望に沿えない場合もあります。ご了承ください。
実施会場は次のいずれかからお選びください。

福島市・郡山市・会津若松市・南相馬市・いわき市

事前予約制です。相談を希望の方は、希望日の2週間以上前までに、
下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。

持参書類

必須 東京電力から送付される「賠償金ご請求書②」一式
できるだけ家屋の写真、建築図面、
工事請負書等もお持ちください。

不明な点
などは
お気軽にご相談
ください。



☎ 原子力損害の賠償等に関する問い合わせ窓口 ☎024-521-8216(平日 午前8時30分～午後5時15分)



小児健康診査を開始します

福島県立医科大学では、福島県からの委託を受け、県民健康調査「小児健康診査」を実施しています。
平成30年度は、下記のとおり実施します。

「受診案内書類の封筒」がお手元に届きましたら、内容をご確認ください。

対象者 0歳から中学3年生までの方(平成23年時指定の避難区域等(13市町村)に
平成30年4月1日現在住民票のある方等)

受診期間 平成30年7月～12月

医療機関 県内小児健康診査医療機関
(封筒に受診可能医療機関一覧を同封します)

健診費用 無料

受診案内書類(ピンク色の封筒)は、
平成30年6月下旬～7月上旬頃に発送します。
なお、県外に避難されている方には、県外版を
平成30年6月～10月頃にお送りいたします。



小児健康診査の概要

健康診査の方へ
●この小児健康診査は無料の検診です。
●検診の結果や検診の進捗状況は、検診実施
日に関係なくお電話でお知らせいたします。
詳しくは封筒の裏面に記載しております。



県民健康調査
福島県・福島県立医科大学
〒960-2292 福島県福島市田代1-1
福島県立医科大学 放射線医学センター
放射線医学県民健康管理センター
TEL: 024-549-5130(受付時間: 午前9時～午後5時)

☎ 福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター
☎024-549-5130(土日祝日を除く午前9時～午後5時)

おかけ間違いのないようご注意ください。



福島第一廃炉 国際フォーラムが 開催されます

福島第一原子力発電所で進んでいる廃炉について考えるイベントを開催します。



日時 8月5日(日)・6日(月)

場所 5日:楳葉町コミュニティセンター
6日:いわき芸術文化交流館
アリオス

福島第一廃炉国際フォーラム事務局
☎03-5348-3500



東日本大震災原子力災害パネル展

県民の皆様より寄贈いただいた写真を使用した東日本大震災原子力災害パネル展を開催します。



郡山市

場所 イオン郡山フェスタ店 1階婦人服売り場前

日時 8月23日(木) 午後1時～9月3日(月) 午後1時

福島市

場所 こむこむ館 にぎわい通り

日時 9月7日(金) 午後1時～9月26日(水) 午後1時

※見学料無料、申込不要です。

福島県庁 生涯学習課 ☎024-521-7784

県営復興公営住宅 勿来酒井団地 オープニングイベントが開催されました

6月23日、双葉郡の双葉、大熊、浪江、富岡町の住民が入居する復興公営住宅 勿来酒井団地のイベント広場で、完成を祝うオープニングイベントが開催されました。団地には、集合住宅と戸建て住宅計159戸、双葉郡立診療所、高齢者等福祉施設、集会所、商業施設が整備されています。

イベントでは地元いわき市勿来地区などの芸能団体と双葉町の芸能団体のステージ発表が行われたほか、「双葉町ダルマ市」恒例の巨大ダルマ引きが行われ、団地に入居する住民と地元いわき市勿来地区の住民が交流の第一歩を踏み出しました。



テープカットの様子



不動産取得税の 軽減措置について



東日本大震災及び原子力災害により被災した家屋とその敷地、農地の所有者が、それらに代わるものを取得した場合、取得した家屋とその敷地、農地に係る不動産取得税が軽減されます。

また、子育て支援策の一環として、18歳未満の方を含む三世以上の方が同居または近居する住宅を平成29年4月1日から平成32年3月31日(2020年)までに取得した場合、取得した住宅に係る不動産取得税が2分の1に軽減されます(福島県内の不動産に限ります)。

詳しくは下記までお問い合わせください。

問い合わせ先	電話番号
県北地方振興局	☎024-521-2694
県中地方振興局	☎024-935-1254
県南地方振興局	☎0248-23-1517
会津地方振興局	☎0242-29-5254
南会津地方振興局	☎0241-62-5214
相双地方振興局	☎0244-26-1126
いわき地方振興局	☎0246-24-6033
福島県庁 税務課	☎024-521-7068



帰還に向けた 放射線不安相談窓口 (廃棄物など)のご案内

福島県では、避難地域12市町村の住民や事業者等を対象に、身の回りの廃棄物等への放射線不安に対する相談窓口を設置しています。

相談員が内容に応じて放射線量測定等を行い、関係機関の紹介等を行います。

相談例

自宅のリフォーム工事で発生した残材を処分したいが、どこにお願いすれば良いのか

帰還に向けた放射線不安相談窓口
(浪江町役場本庁舎1階)
受付時間:月～金曜日(祝日を除く)
午前8時30分～午後5時15分
☎080-2845-3905
✉ info2@fukushima-sanpai.jp



会津大学からの
お知らせ

「福島県IT企業への就労マッチング事業」を行っています

経験者も未経験者も、お気軽にご相談ください！

会津大学及び会津SLF協議会[※]では、ふくしま生活・就職応援センターと連携し、避難されている方の就労を支援する「就労マッチング事業」を実施しています。

平成29年度からは、IT関連企業に就職を希望する女性を対象にした「女性プログラマ育成塾」と連携した取り組みも行っています。[※]会津大学と会津地域を中心としたIT企業で構成された人材育成と雇用創出を目的とする協議会です。

就労マッチング事業の流れ



- ① 希望される仕事のことや、各企業の情報などをお問い合わせください。
- ② 今までの仕事の経験など、簡単な聞き取りを行います。
- ③ お聞きしたことを参考に、協力企業等に情報提供を行いマッチングのお手伝いをします。

④ 会津大学は、今後も協力企業を広げていきます。

協力企業一覧(平成30年6月1日現在)

協力企業名	所在地	全体情報
(株)Eyes, JAPAN	会津若松市東栄町	<ul style="list-style-type: none"> ○各企業が求める仕事の内容は様々です。 ○雇用形態も、正規職員からパートタイムまで様々です。 ○資格や専門知識が必要な仕事もありますが、特に資格を必要とせず、パソコンでの単純入力作業等を行う仕事もあります。 ○協力企業によっては、インターンシップ(職場体験等)を行う場合もあります。
(株)会津ラボ	会津若松市インター西	
(株)ウェブレッジ	郡山市桑野	
(株)エフコム(会津支社)	会津若松市インター西	
(株)シンク	会津若松市インター西	
(株)GClue	会津若松市一貫町	
(株)デザインウム	会津若松市中町	
富士ソフトサービス ビューロ(株)	会津若松市栄町・ 郡山市駅前	
(株)福島県中央計算センター	福島市新町	
(株)エフコム(郡山本社)	郡山市堤下町	
(株)福島情報処理センター	郡山市桑野	
(株)FSK	いわき市内郷御殿町	<p style="text-align: center; background-color: #f8d7da; padding: 2px;">主な仕事の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレフォンオペレーター ・データ入力オペレーター ・販売・営業(PC関連機器) ・Webコンテンツの表示・動作テスト ・システムエンジニア ・インフラエンジニア ・サーバエンジニア ・プログラマー
(株)東日本計算センター	いわき市平	
(株)コンピューターシステムハウス	郡山市喜久田町	

☎ 就労マッチング事業に関すること ふくしま生活・就職応援センター 受付時間:月~土曜日 午前10時~午後7時(日曜・祝日、年末年始を除く)

●会津若松事務所 ☎0242-27-8258 ●郡山事務所 ☎024-925-0811 ●いわき事務所 ☎0246-25-7131

☎ 女性プログラマ育成塾に関すること 公立大学法人会津大学 女性プログラマ育成塾事務局

受付時間:月~金曜日 午前9時~午後5時(土曜・日曜・祝日、年末年始を除く) ☎0242-37-2768

ふくしまVoice

Vol.2 高橋日出夫さん
(飯舘村在住)

帰還した人、起業した人、
移住してきた人の声をご紹介します。

飯舘村で花き農家を営んでいます。震災後は福島市に避難し、平成29年3月に帰還しました。避難中は他の仕事にも就きましたが、3年目に飯舘村の農業再開支援制度を利用し、福島市で再び花の栽培を始められました。比較的早く再開できたので、帰還したいと思いつけられたのかもしれませんが。

また村による支援、種苗会社の指導のお陰で栽培がうまくいったことも大きかったです。現在は新たに生産者組合を組織。花き農家も徐々に増えているようです。

思い返してみれば、震災後も前向きに過ごせたことがよかったのでしょう。妻の冷静な言葉で避難、除染、帰還に対して悲観的にならずに済みました。帰還の際は喜びもひとしお。ヒバリの鳴き声や上空を通る飛行機などさまざまなものごとに、故郷での日常が実感できました。

☎ 飯舘村かずみ草生産者組合 ☎090-6254-1041



可憐なカスミソウ
出荷の時期は夏と秋

高橋さんが営む
7棟の栽培温室

